

平成 29 年 8 月 4 日

総務部防災課

平成 29 年度夏の避難所総合訓練の実施結果について

1 実施日時等

- (1) 日 時 平成 29 年 7 月 23 日 (日) 午前 10 時から 12 時まで
- (2) 場 所
音羽中学校 校舎及び体育館、新大塚公園
- (3) 参加者 351 名
 - ① 区民防災組織 85 名
音羽中学校避難所運営協議会役員 (85 名)
 - ② 区民(体験型訓練参加) 182 名
 - ③ 学校職員・P T A 5 名
 - ④ 防災関係機関等 (医師会・薬剤師会・歯科医師会・消防署・消防団・警察署
・手話会・アマチュア無線・日本郵便) 46 名
 - ⑤ 区職員(災害対策本部員含む) 33 名

2 訓練テーマ

訓練テーマは「夏の暑さ対策」とし、制汗スプレーやウェットティッシュによる暑さ軽減の自助の取り組みをはじめ、熱中症対策として東京防災を参考にした経口補水液の作り方を実践した。さらに、夏の避難所で特に問題となる衛生管理対策については、居住スペース入室時のアルコール消毒や簡易トイレでの衛生管理について実践的な対策を行い参加者に対し周知を図った。

3 訓練内容

- (1) 避難所運営訓練

学校施設を使い、多数の避難者を受け入れる準備をするとともに、地域の特性に応じた訓練を企画し、音羽中学校避難所運営協議会員を中心として実施した。

 - ① 本部室
 - ・避難所本部開設
 - ・通信訓練
 - ・被害状況把握訓練
 - ・避難所HUGを活用した図上訓練
 - ② 総務情報
 - ・避難者受付 (一次受付)
 - ・情報の集約、把握、揭示
 - ・災害特設公衆電話設置訓練

③ 避難者援護

- ・校内の安全点検
- ・居住スペース設営訓練
- ・避難者相談コーナー
- ・夏の暑さ対策コーナー

④ 救護衛生

- ・医療救護所設営訓練 三師会と連携した訓練
- ・トイレ設営訓練 マンホール型トイレ・簡易トイレ
- ・トイレ対策コーナー 避難所でのトイレの衛生管理、携帯トイレの紹介

⑥ 給食物資

- ・炊き出し訓練 カレーの配給
- ・備蓄倉庫管理
- ・給水訓練 応急給水資器材
- ・備蓄物資展示

(2) 体験型訓練

発災時に想定される状況の初期対応を体験した。

- ① 消火訓練 消火器
- ② 煙体験
- ③ 防災体験ツアー
- ④ 応急救護訓練 A E D 取扱い、心肺蘇生法

(3) 展示ブース

- ① 文京区役所（防災課、地域整備課）
- ② 小石川消防署
- ③ 大塚警察署
- ④ 日本郵便株式会社
- ⑤ 文京区アマチュア無線局災害非常通信連絡会

4 振り返り（反省会）

訓練後、協議会会長、各班の班長及び副班長等による振り返りを実施した。

※ 本訓練では、協議会からの提案として、日常からの自助の取り組みを啓発するため、非常用持ち出し袋や暑さ対策用のうちわ等を持参して訓練に参加していただきました。

また、訓練後の振り返りでは、反省、検討事項が殆どでしたが、本訓練において避難所の開設がいかに難しく、大変だという事が明らかになったことであり、訓練参加者には、「気付き」が芽生えたことであるため、今後も継続した取り組みを実践して頂きたいと思えます。